

経験すべき症候、疾病・病態

29 症候と 26 疾病・病態は、2 年間の研修期間中に全て経験するよう求められている必須項目となる。経験すべき症候及び経験すべき疾病・病態の研修を行ったことの確認は、日常診療において作成する病歴要約に基づくこととし、病歴、身体所見、検査所見、アセスメント、プラン（診断、治療、教育）、考察等を含むこと。病歴要約に記載された患者氏名、患者 ID 番号等は同定不可能とした上で記録を残す。「経験すべき疾病・病態」の中の少なくとも 1 症例は、外科手術に至った症例を選択し、病歴要約には必ず手術要約を含めることが必要である。

経験すべき症候－29 症候－

外来又は病棟において、下記の症候を呈する患者について、病歴、身体所見、簡単な検査所見に基づく臨床推論と、病態を考慮した初期対応を行う。

No.	経験すべき症候	No.	経験すべき症候
1	ショック	16	下血・血便
2	体重減少・るい瘦	17	嘔気・嘔吐
3	発疹	18	腹痛
4	黄疸	19	便通異常（下痢・便秘）
5	発熱	20	熱傷・外傷
6	もの忘れ	21	腰・背部痛
7	頭痛	22	関節痛
8	めまい	23	運動麻痺・筋力低下
9	意識障害・失神	24	排尿障害（尿失禁・排尿困難）
10	けいれん発作	25	興奮・せん妄
11	視力障害	26	抑うつ
12	胸痛	27	成長・発達の障害
13	心停止	28	妊娠・出産
14	呼吸困難	29	終末期の症候
15	吐血・喀血		

経験すべき疾病・病態－26 疾病・病態－

外来又は病棟において、下記の疾病・病態を有する患者の診療にあたる。

No.	経験すべき疾病・病態	No.	経験すべき疾病・病態
1	脳血管障害	14	消化性潰瘍
2	認知症	15	肝炎・肝硬変
3	急性冠症候群	16	胆石症
4	心不全	17	大腸癌
5	大動脈瘤	18	腎盂腎炎
6	高血圧	19	尿路結石
7	肺癌	20	腎不全
8	肺炎	21	高エネルギー外傷・骨折
9	急性上気道炎（COPD）	22	糖尿病
10	気管支喘息	23	脂質異常症
11	慢性閉塞性肺疾患	24	うつ病
12	急性胃腸炎	25	統合失調症
13	胃癌	26	依存症（ニコチン・アルコール・薬物・病的賭博）

基本的臨床手技

(臨床手技)

1	気道確保	14	腰椎穿刺
2	人口呼吸（バッグ・バルグ・マスクによる用手換気を含む。）	15	穿刺法（胸腔）
3	胸骨圧迫	16	穿刺法（腹腔）
4	圧迫止血法	17	導尿法
5	包帯法	18	ドレーン・チューブ類の管理
6	採血法（静脈血）	19	胃管の挿入と管理
7	採血法（動脈血）	20	局所麻酔法
8	注射法（皮内）	21	創部消毒とガーゼ交換
9	注射法（皮下）	22	簡単な切開・排膿
10	注射法（筋肉）	23	皮膚縫合
11	注射法（点滴）	24	軽度の外傷・熱傷の処置
12	注射法（静脈確保）	25	気管挿管
13	注射法（中心静脈確保）	26	除細動

(検査手技)

1	血液型判定・交差適合試験
2	動脈血ガス分析（動脈採血を含む）
3	心電図の記録
4	超音波検査（心）
5	超音波検査（腹部）

(診療録)

1	診療録の作成
2	各種診断書（死亡診断書を含む）の作成

その他の研修活動の記録

1	感染対策
2	予防医療
3	虐待対応
4	社会復帰支援
5	緩和ケア
6	ACP
7	CPC
8	チーム活動
9	児童精神
10	薬剤耐性菌
11	ゲノム治療
12	その他